

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

『命の山王』

No. 17 [2018年 9月 5日(水)]

「祭り」について考える

土曜日に今年の山王フェスタが行われます。夏休み後のスタートが、先週の月曜日だったためか、あっという間に当日を迎えるような慌ただしさを感じています。今は各部門を中心に、連日集中して準備に取り掛かっています。そんな中「祭り」について考えてみました。

「祭り」は日本各地に存在します。秋田市では有名な「竿燈まつり」があり、秋田市民や県民どころか、日本中そして全世界から観光客が見物にやってくるほどの大きなイベントになっています。しかし、そんな大規模でなくても、各市町村にも何らかの「祭り」がありますし、小さな町内にもあります。共通して言えることは、ただ見物するよりも、自分自身が参加して深く関わった方が、楽しさと充実感を実感できる、という点です。

「竿燈まつり」は、本校の郷土芸能クラブのメンバーが実際に参加しているので、よく分かってもらえると思うのですが、見ているだけよりも、参加してみるとその楽しさに気付くことができます。確かに、練習や準備は大変ですし、本番は体力的にもきつい場合もあるはずですが、しかし、終わった後の充実感とやりがいは言葉では伝えきれないものがあるはずで、「竿燈まつり」に毎年参加される町内会の人たちの中には「竿燈があるから秋田に住んでいるのだ」と話す人がいるほどです。

「山王フェスタ」も同じです。ただ参加するのは、楽ではありますが心に残るものにはなりません。いろいろ苦労もあると思いますが、文化部や部門でそれぞれの仕事をする中で、充実感を味わうのだと思います。ふだんの学校生活では見られないような活躍を期待しています。何しろ「フェスタ(祭り)」なのですから。

また、当日はそれほど仕事のない人もいるかもしれません。そんな人の頑張りどころは「挨拶(あいさつ)」です。来校して下さった地域の方や保護者の皆さんに、元気のよい明るい挨拶をしてほしいです。そうすると、おいで下さった方々は、中学生からエネルギーをもらうことになり、山王フェスタに来てよかった、となるはずですが、これも「祭り」への参加の方法の1つだと思います。当日の頑張りを楽しみにしています。

9/8(土)の山王フェスタの一般公開は、午前10時～午後1時です。

〔生徒指導主事：木内記〕

「若人山王精神」物語その9

昨日の夕方、県立体育館で国体の結団式がありました。今までは、1年生だけが参加していたことが多かったのですが、今年は水泳部3年生の鎌野目遼弥君が選出されたこともあり、3年生を含めて運動部全員が参加しました。会場には甲子園以来まだフィーバーが続いている、金足農業高校野球部も出席していました。国体での活躍を期待したいと思います。

山王フェスタは9/8

上の記事にも書かせてもらいましたが、山王フェスタが土曜日になりました。今年は山王フェスタ後に合唱コンクール、という日程になっています。学年通信等でご確認ください。当日はご都合に合わせて来校いただき、生徒たちの頑張りをご覧ください。